

山形 いぶき

vol.157

令和4年5月

YNA 夢・ナースング・愛



鶴岡市立荘内病院

鶴岡市立荘内病院は、地域周産期母子医療センター、地域医療支援病院として、急性期医療を担う521床の地域の基幹病院です。2020年から国立がん研究センター東病院と医療連携を結び「がん相談外来」開設、がん医療・看護のレベルアップに向けて職員間の連携等に取り組んでいます。

看護部では「こころかよう看護の提供」を目指し、チーム医療の一員として医療と生活の両面から支援できる人材を育成しています。

副院長兼看護部長 原田あけみ



TOPICS

◆令和4年度通常総会特集号(別冊)

- 令和4年度通常総会開催にあたって
- 山形県の医療的ケア児支援施策について
- 新型コロナウイルス沖縄での支援活動報告

2022(令和4)年度日本看護協会通常総会・全国職能別交流集会

- 期 日:2022年6月8日(水)・9日(木) ※規模縮小開催
- 場 所:幕張メッセ(千葉県千葉市)

2022(令和4)年度山形県看護協会通常総会・職能合同研修会

- 期 日:2022年6月17日(金) ※規模縮小開催
- 場 所:山形県看護協会会館・看護研修センター



令和4年度
会員数(5月現在)

保健師	337
助産師	356
看護師	6,750
准看護師	125
計	7,568



公益社団法人 山形県看護協会

ホームページ <http://www.nurse-yamagata.or.jp>

山形県看護協会

県ホームページ「すまいる山形暮らし情報」からもリンク
できます。機種によってはアクセスできない場合があります。





令和4年度 通常総会の開催にあたって

公益社団法人山形県看護協会 会長 若月 裕子



周囲の山々の新緑がきれいな季節となりました。

会員の皆さまにおかれましては、新たな役割・業務と向きあい、また新しい仲間と出会い、抱負を胸に新年度をスタートされ、お忙しい日々をお過ごしのことと想われます。

日頃より当協会の活動に対し、ご支援・ご協力を賜っておりますことに心より感謝を申し上げます。

また、ウィズコロナ3年目を迎えましたが、まだ多数のクラスター発生等で、あらゆる現場で対応されている看護職、医療従事者の皆さまに、心より感謝を申し上げ敬意を表します。

さて、新型コロナウイルス感染症は、看護職に対する社会的な期待や存在価値を高めるとともに、看護職員の処遇改善のきっかけとなりました。岸田政権は、成長と分配を軸とした「新しい資本主義」を掲げ、国民の所得を増やすための政策において、賃金が公的な仕組みで決まるにもかかわらず、仕事内容に比して報酬が十分でない看護職員、介護職、保育士等の賃上げを先行して行うことになりました。2月からの看護職員等の処遇改善補助金事業の対象となったのは、「地域でコロナ医療など一定の役割を担う医療機関に勤務する看護職員」ですが、補助金対象の有無にかかわらず、それぞれの医療機関・施設・訪問看護ステーションなどで看護職員や看護補助者の賃上げを行っていただくよう、看護管理者の皆様に、より一層の努力をお願いいたします。日本看護協会は、今後すべての看護職員を処遇改善の対象とするよう、政府に働きかけを続けており、山形県看護協会も情報を発信してまいります。

看護職はいのち、暮らしを、まもる人。

看護職は、人々の健康にかかわる仕事であり、医療の視点だけではなく、生活の視点を持ち、「人」をみる専門家です。時代は、今まで以上に医療や看護を必要としています！

少子高齢化が進む中で、医療や看護の提供体制の維持には、高校生の18人に1人が看護職を目指してもらう必要があります。看護職一人ひとりが、自らの言葉で、看護の魅力を伝えていきましょう。

今年の「看護の日・看護週間」は、次世代を担う若者に、いのちを守り、支えるプロフェSSIONナルの道へ進めるよう山形駅西口で「看護フェア2022」を開催し、看護の魅力・やりがいを発信しました。

今年度の通常総会は、昨年同様縮小開催といたします。会員の皆さまのご理解をお願いいたします。

令和4年度は、社会の動向を見据え、看護職が果たすべき役割を見極め、看護の専門性を発揮し、県民の健康な生活を支えていけるよう、4つの重点事業「全世代を支える看護機能の強化」「専門職としてのキャリア継続の支援」「地域を支える看護職の裁量発揮」「地域の健康危機管理体制の構築」を掲げ取り組んでまいります。さらに、本会の重点事業はSDGs※「すべての人に健康と福祉を」「ジェンダー平等を実現しよう」「働きがいも経済成長も」の3つの目標と関連づけ、日本看護協会とも連携し2022年度～2030年度まで取り組んでまいります。

ウィズコロナ、ポストコロナ 今年度も皆さまからの最新情報をお聞きし、看護職能団体として関係機関と連携し、事業及び委員会活動等に職員一同取り組んでまいります。宜しくご支援をお願いいたします。

※SDGsとは、Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)

2015年9月の国連サミットで採択され、国連加盟193か国が2016年から2030年の15年間で達成するために掲げた目標

山形県看護協会 LINE 公式アカウント

お知らせ・最新情報をタイムリーに配信します。ぜひお友だちにならしましょう！



栄えある受章、おめでとうございます

春の叙勲

瑞宝双光章 齊藤 律子 様
(元山形大学医学部附属病院看護部長)

瑞宝単光章 佐藤 洋子 様
(元山形大学医学部附属病院看護部看護師長)

日本看護協会長表彰

信夫 松子 様
(順仁堂遊佐病院 副院長兼看護部長)

山川祐美子 様
(山形県看護協会 常任理事)

『広域人材調整事業』

ご支援ありがとうございました。

令和4年1月～2月
沖縄県へ3名の看護師を派遣しました。

沖縄県での支援活動の学び

小林 桃子

1月下旬から2週間、沖縄県那覇市の宿泊療養施設で活動しました。急速な感染拡大に伴い宿泊療養施設数を増やしており、全国各地から看護師や保健師等が応援に入っていました。活動先の施設では当初は高齢の入所者は少なかったのですが、徐々に70代、80代の高齢者が増加していきましました。宿泊療養中に状態悪化し入院する方はほとんどいませんでしたが、重症化リスクの高い入所者が増えることには不安もありました。ハード面では、医療機関と異なり、限られた資源と環境の中で感染対策を行わなければならない点が難しいと感じました。ソフト面では、スタッフが流動的な中で円滑に業務を進めていかなければならない現場の大変さを感じられました。

応援スタッフは皆バックグラウンドが多様で、話を聞くだけでも勉強になることが多く、業務以外でも多くの学びを得ることができました。また今後の人生を考えるきっかけにもなりました。この貴重な経験を今後活かしていきたいと思っています。



沖縄県宿泊療養施設での支援活動を終えて

医療法人社団愛陽会三川病院 鈴木 千賀

私はこの度、沖縄県新型コロナウイルス感染対策本部宿泊療養施設で、令和4年1月29日から2月26日までの2クール(4週間)支援活動に参加させて頂きました。

派遣された宿泊療養施設では開設準備のゾーニングから関わり、ホテルでのゾーニングの難しさを実感しましたが、今後活かせる貴重な体験でした。

業務内容としては、事務局内での健康観察(健康相談)、フルPPEでの環境整備や入所・退所の対面対応を行いました。地域が変わるとPPEも異なり、山形県(本州)ではキャップをかぶりますが、沖縄県ではキャップを使用しません。宿泊療養施設内でのPPEだとは思いますが、キャップをかぶらないでの患者対応の業務は緊張の連続で、正直かなりのストレスになりました。しかし、感染対策の基本を守り、自分の行動に細心の注意を払えば感染せず業務を継続できるのだと学びました。

又、全国から支援活動に参加されたスタッフの皆さんとの意見交換や情報共有も貴重な時間でした。

4週間という短い期間でしたが、地元では体験することのできない貴重な機会を与えて頂き、本当に感謝しております。有難うございました。

価値観が変わった瞬間

石山 美香

「来てくれただけで心強い、本当によく来てくれましたね、感謝しかないです。」これは、私が応援派遣看護師として沖縄に行った際に、沖縄の方が言ってくださった言葉です。



私は山形県で生まれ育ち、看護の仕事は県内で20数年間してきました。子供達が小さい間は仕事と家事に追われ、県外に出て働くことなど考えたことがありませんでした。そんな私でしたが、新しいことにチャレンジしたい、何かの役に立ちたいと強く思い、一大決心をして沖縄へ出発しました。沖縄では、まるで里帰りした家族を出迎えるかのように私たちを温かく受け入れて下さいました。そして仕事以外にも、地元の名産や歴史を教えていただきました。その心の温かさ寛大さのおかげで、応援する為に行ったはずの私自身の心が癒され、元気を頂きました。

沖縄での経験から、私の狭く窮屈でとても小さい世界が大きく広がり、とても前向きな気持ちを持つことができました。大変貴重な機会をいただき本当にありがとうございました。

山形県の医療的ケア児支援施策について

山形県健康福祉部障がい福祉課 事業指導・医療的ケア児支援担当 主査 川越 亘

近年、医療技術の進歩等を背景に、日常的に人工呼吸器やたんの吸引等の医療的ケアが必要な「医療的ケア児」は増加傾向にあり、全国の医療的ケア児(在宅)は約2万人(推計)、山形県内の医療的ケア児(同)は145名(R3.9.1時点)となっています。

県では、在宅で生活する医療的ケア児及びそのご家族が地域で安心して暮らしていけるよう、「山形県医療的ケア児支援会議」等を設置し、医療、保健、福祉、教育、保育等の関係者による、お子様のライフステージに応じたニーズの把握、課題解決に向けた協議及び各種施策を推進しています。

具体的には、医療的ケアを行う訪問看護師等の支援人材養成のための研修の開催、ご家族の通院負担軽減のための訪問看護師による付添い、医療的ケア児の訪問診療を行う小児在宅医の養成等を行っております。

また、令和3年9月18日には、医療的ケア児の健やかな成長を図るとともに、その家族の離職の防止に資し、安心して子どもを生み、育てることができる社会の実現に寄与することを目的として「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」が施行されました。

県では、法律の施行を踏まえ、ご家族の悩みや困り事を丁寧にお聞きし、最適な支援機関を紹介することや、医療、保健、福祉、教育、保育、労働等の多機関が有する情報から個々の家庭に応じた必要な情報を提供する等の役割を担う、山形県医療的ケア児等支援センターの開設に向け準備を進めています。

今後も法律の趣旨等を踏まえ各種施策を推進してまいりますので、県看護協会並びに会員の皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

理事会等の開催報告

令和4年2月18日(金) 第8回理事会(書面理事会)

- 審議事項 1. 令和4年度山形県看護協会重点事業(案)並びに事業計画(案)について…〈承認〉 5. 令和4年度山形県看護協会「地域の看護力強化支援事業募集要項」(案)について…〈承認〉
2. 令和4年度山形県看護協会教育計画(案)について…〈承認〉 6. 令和4年度山形県看護協会看護功労者表彰並びに感謝状贈呈候補者(案)について…〈承認〉
3. 令和4年度山形県看護協会認定看護管理者教育課程細則一部改定(案)について…〈承認〉 7. IT導入補助金を活用した研修管理システムの導入について…〈承認〉
4. 令和4年度4支部の事業計画(案)・予算(案)について…〈承認〉

令和4年3月11日(金) 第9回理事会(Web会議)

- 審議事項 1. 令和4年度収支予算(案)について…〈承認〉 5. 山形県看護協会会館・看護研修センターの土曜日の閉館について…〈承認〉
2. 令和4年度山形県看護協会職能委員会・常任特別認定委員会の委員選出(案)について…〈承認〉 6. 山形県看護協会会館・看護研修センター及び駐車場使用規程の一部改正(案)について…〈承認〉
3. 令和4年度山形県看護協会通常総会並びに職能研修会プログラム(案)について…〈承認〉 7. 「育児・介護休業等に関する規則」の一部改正(案)について…〈承認〉
4. 令和4年度山形県看護協会通常総会要綱配布数(案)について…〈承認〉

令和4年1月～3月の山形県看護協会事業実施状況

令和4年1月20日(木)・21日(金) 山形県看護協会教育計画懇談会(Web開催)
令和4年2月1日(火) 山形県看護協会・山形県看護連盟合同研修会(Web開催)
令和4年2月5日(土) 在宅医療推進研修「医療的ケア児等連携推進」(Web開催)
令和4年2月7日(月) 庄内地域看護管理者(Web開催)
令和4年2月17日(木) 「福島県外避難者の心のケア事業」研修会(Web開催)
令和4年2月21日(月) 看護管理者・産科看護管理者・助産師等交流会(Web開催)
令和4年2月26日(土) 医療職のWLBフォローアップワークショップ
令和4年2月27日(日) 山形市総合スポーツセンターにおける
新型コロナウイルスワクチン接種に係る集団接種等業務開始
令和4年3月5日(土) セカンドキャリア研修会(Web開催)
令和4年3月7日(月) 山形県助産師活用推進事業協議会(Web開催)
令和4年3月11日(金) 第9回理事会(Web開催)
令和4年3月25日(金) 東南村山地域施設等看護管理者ネットワーク会議(Web開催)

山形看護協会事務局職員の入職者のお知らせ

事業課課長補佐として

田瀬 裕子

4月より、事業課課長補佐として勤務させていただきます。

病院勤務時代は、新型コロナウイルスへの対応に奔走していましたが、当協会でも最前線に対応しており、様々な立場で対応していく必要性を実感しています。

当協会の基本理念に基づき、県内の看護職の方々とともに、事業を進めていきたいと思っております。新たな気持ちで取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



ナースセンター担当として

伊藤美智代

4月よりナースセンターの事務担当として勤務し、事務を中心に様々な業務を経験させていただいております。自分の至らなさに落ち込むこともあります。職員の皆さんに助けをいただきながら、できることが増えていく楽しさと知らなかった知識との出会いに、日々感動しています。ナースセンターでの相談業務も勉強中ですが、親切丁寧を心掛け、ご利用者様の力になれるよう精一杯努力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



インフォメーション

2022年度

【応募書類受付期間】

2022年6月1日(水)～6月30日(木)

「今野フサ子記念奨学金」募集受付について

今年度も「今野フサ子記念奨学金」の募集を左記期間行います。
当協会ホームページ掲載の2022年度「今野フサ子記念奨学金」給付奨学生募集要項を参照してご応募ください。

『山形県看護協会
LINE公式アカウント』

開設のお知らせ



このたび、LINE公式アカウントを開設いたしました。
山形県看護協会からのお知らせや最新情報をタイムリーに配信します。
お友だち登録よろしくお願ひします。
当サービスの利用料は無料です。サイト閲覧を行う環境(通信料等)は利用者の負担となります。
サービス使用上の規約に関しましては、山形県看護協会ホームページ内「新着情報」より「公益社団法人山形県看護協会SNS運用ポリシー」をご覧ください。

